



任意団体 Share An Opportunity Philippines

台風ハイエン被災地におけるマングローブ植林および海洋森林経営を通じた高潮防止

一般助成

2年目

実践

アクアシルビカルチャーに関する研修の実施回数 3回

マングローブと海洋森林樹の植林数 3,000株

活動の全体目標に対する達成度 70%

課題

台風ハイエン被災地の脆弱性。マングローブ林の設置による災害対策。海岸線の環境荒廃。マングローブ植林と農業を融合したアクアシルビカルチャー技術の普及。

活動内容

- ① 2,500株のマングローブ苗を追加で植林、5,000株の生育を維持
- ② 他の海洋森林樹、果樹を植林
- ③ 防波ブロックを建造して設置し、高潮からの保護を増強
- ④ 蟹、ティラピア、牡蠣の養殖トレーニング実施
- ⑤ アクアシルビカルチャー（マングローブ林管理、養殖、農業を融合したものの）の技術を検証
- ⑥ 漁民組織、小学校とSAOの責任分担と収益分配に関する三者合意への協議
- ⑦ 住民と児童に啓蒙資料を配布



マングローブ林と防波堤
(2017年1月撮影)

今後の課題

- 漁民組織と小学校に代表されるコミュニティが、今後のマングローブと海洋森林樹、果樹林の生育と管理を主導する。種も採取して育てる。
- ティラピアとバングースの養殖を継続的な生計手段とする。

成果と工夫したポイント



成果

三者合意草稿による当事者意識の向上。生計手段となるアクアシルビカルチャー3技術の実証。マングローブ5千株維持。5百人への啓蒙資料配布。防波ブロック500個の設置で、1,000人の住民を高潮被害から保護。

工夫

常に技術コンサルタントの助言を得る。当事者との連携を密にする。必要な研修を受講し、住民に還元する。